



2024年12月3日
第87号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



2024横浜地本政策フォーラム開催



5機関
提言



本部
佐藤副委員長



12月1日（日）、横浜地本は神奈川県民ホール会議室にて「2024政策フォーラム」を開催しました。本部から佐藤副委員長、砂塚業務担当部長にお越しいただき、あいさつと提言後の感想をいただきました。首都圏協議会からも佐藤幹事にお越しいただきました。

各支部および地本の5機関から提言を行い、施策や職場現実を出発点にした検証や、安全・健康・ゆとりある職場についてあるべき姿について発表しました。会場の参加者を交えた全体討論では、提言を肉付けする職場の実践や教訓が発言され、成功裏に終了しました。

各機関の提言の概要

<p>川崎支部 「人口減少社会、労働力不足における南武線のワンマン運転」 2025年春から、ワンマン運転が予定される南武線。働く者の視点と利用するお客さまの視点から、安全面とサービスレベルについて提言していく。</p>	<p>横浜支部 「駅業務執行体制提案に対するたたかい」 2024年9月から横浜駅改札が1徹減となった。この間の分会が取り組んだ職場からのたたかひの総括と今後の組織強化拡大に向けた運動について提言する</p>
<p>大船支部 「鉄道を支えるものは『AI』でも『機械』でもない。私たち『人』だ！」 要員不足で業務運営がひっ迫し、職場におけるプロが育っていない。安全な鉄道運行の基本となる専門人材を育成・定着させるために必要なことを提言する。</p>	<p>小田原支部 「あなたは休めてますか？」 2年前の提言その後の現場は」 統括センターの発足から2年が経過し、支部大会にて多くの職場から課題の発言があった。職場に入り議論し、これまでの検証と今後の方向性を提言する。</p>
<p>横浜地本 「相模線ワンマン運転を少しでも『ゆとり』あるものとするために」 相模線ワンマン運転開始から2年半が経過した。昨年の小田原支部提言をより深め、“安全”“健康”“ゆとり”あるワンマン運転の実現のための方策について提言する。</p>	